

表 5.4.5(6/11) モデル地域の特徴及び今後の課題

N08 宜野湾市西海岸（宜野湾市・北谷町）	
地域の特徴 ・都市部に残るサンゴ。 ・年間を通じて、シュノーケリング等の利用者多く、ルールづくりが必要。 ・宜野湾の美ら海を考える会が活動。	保全と利用の両立上の課題 保全と利用の観点から、ルールづくりが必要。
モデル地域設定にあたっての地域の意見 宜野湾市役所 ・トロピカルビーチは利用が盛んである。 ・近隣市町村との連携も必要になるのではないか。 地域の関係者（宜野湾市） ・ジェットスキーをしたいとの要望があるが、漁民は反対している。ルール作りが必要である。 ・トロピカルビーチ沖合は、ジェットスキーやバナナボートが徐々に増えてきている。 （北谷町） ・サンセットビーチ沖合とアラハビーチ南西の沖合でサンゴを移植している。 ・北谷町海域利用事業所協会は、北谷漁協と海面利用協定で海洋レジャー区域を設定している。	モデル地域の対象エリア 位置 ・宮城海岸～サンセットビーチ～アラハビーチ～トロピカルビーチにかけての区域 ・絞り込みが必要 課題等 モデル地域の絞り込みには宜野湾市のみならず隣接地域との議論の積み重ねが必要である。
モデル地域の概況	
 <p>宮城海岸</p>  <p>宮城海岸</p>	

表 5.4.5(7/11) モデル地域の特徴及び今後の課題

N09 久米島南西部（久米島町）	
<p>地域の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高被度サンゴが分布。 ・WWFJと久米島町が地域活性化を視野に入れた環境保全活動実施について協定書を締結。 ・自然資源を持続的に活用してゆくための工夫や赤土等の流出などについて、久米島内外のさまざまな個人、団体の連携を促し、効果的な保全対策を促進 	<p>保全と利用の両立上の課題</p> <p>保全と利用の観点から、ルールづくりが必要。海域と陸域の繋がりを意識した対策が必要。</p>
<p>モデル地域設定にあたっての地域の意見</p> <p>久米島町役場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南側海岸は、サンゴ被度が高いが、白瀬川、浦地川からの赤土流入が問題である。 <p>地域の関係者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白瀬川河口に赤土が堆積している。何年か一回兼城港で浚渫している。 ・浦地川周辺と鳥島漁港付近で生活排水、事業排水による汚濁がある。 ・浦地川上流に沈砂池を設置したことで下流域にもホタルが生息するようになった。 	<p>モデル地域の対象エリア</p> <p>対象エリア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浦地川及び白瀬川流域 ・モデル地域の範囲は適切である。 <p>課題等</p> <p>モデル地域は、当該地区とすることが適切である。当該地域は、久米島町内で相対的に高いにも関わらず、赤土流出が顕著である。また、赤土に対する問題意識は行政、地域住民も認識しており、今後、総合沿岸域管理計画を進める上で適切な場所である。しかしながら、今後の関係者意見によってはモデル地域の設定は柔軟に対応することとする。</p>
<p>モデル地域の概況</p>	

表 5.4.5(8/11) モデル地域の特徴及び今後の課題

N010	宮古島東海岸（宮古島市）	
地域の特徴	保全と利用の両立上の課題	
<ul style="list-style-type: none"> ・高被度サンゴ及び藻場が分布。 ・新城・吉野ビーチもあり、人の利用も盛ん。 ・NPO 美ぎ島宮古島では、自然と環境保全、緑化推進、伝統文化の継承を図ることを目的に「美ぎ島募金」助成事業を公募。 	<ul style="list-style-type: none"> ・オニヒトデは、分布状況等現状把握ができていない。 ・浸透池の管理が不十分であり、用水路から海へ赤土等が流出している。 ・漂着ごみ・不法投棄により処理費用が増大 	
モデル地域設定にあたっての地域の意見	モデル地域の対象エリア	
<p>宮古島市役所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北風が吹く冬季は、宮古の北東海岸のほとんどの海岸で、漂着ごみが流れ着く。 ・特に宮古島市の東側の保良地区では、崖の下の海に生活ごみとか産廃ごみを不法投棄している問題がある。 ・養殖は、平安名崎、池間島の湾、北東海岸、久松等の浅瀬で実施されている。 <p>地域の関係者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内のダイビングショップ事業者の団体及び伊良部、池間、宮古島の漁協と海面利用協定を締結し、環境保全活動を実施している。 	<p>対象エリア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新城海岸、吉野海岸 ・モデル地域の範囲は適切である。 <p>課題等</p> <p>モデル地域は、当該地域は、宮古島内で相対的にサンゴ被度が高いにも関わらず、漂着ごみや不法投棄の問題が顕著である。今後、総合沿岸域管理計画を進める上で適切な場所である。しかしながら、今後の関係者意見によってはモデル地域の設定は柔軟に対応することとする。</p>	
モデル地域の概況		
 <p>The figure consists of a topographic map of the eastern coast of Miyako Island, Japan. A green dotted line outlines the 'モデル地域' (Model Area), which includes '新城海岸' (Shinjō Coast) and '吉野海岸' (Yoshino Coast). The map shows contour lines, roads, and urban areas. An inset photograph in the top right corner shows a sandy beach with turquoise water, labeled '新城海岸'. A scale bar indicates 1 km, and a north arrow is present in the bottom left corner.</p>		